

松進タイムズ

発行 「松進」
令和7年 12月



松進HP

冬期講習 受講生受付中

重要ポイントを教える他に、学力を上げるためにしなければならぬことを教えます。



私たちが指導したことを実行してください。実行すれば学力が伸びます。

小学部

1時限 2400円

○ハイレベルコース(小4~小6)

○学校授業補習コース(小4~小6)

○中学受験コース(小5)

○中学準備コース(小6)

○無料 冬休み宿題帳指導会

(小1~小6)

大好評のワクワク理科実験も実施。

中学部

3時限 9500円

入試5科(英語・数学・国語・社会・理科)を指導(選択可)

○落とせない問題攻略コース(中3)

○高校受験対策コース(中3)

○前期選抜学力検査I対策コース(中3)

○前期選抜学力検査II対策コース(中3)

○定期テスト対策コース(中1・中2)

○高校入試準備コース(中1・中2)

○学校授業対策コース(中1・中2)

高校部

3時限 9500円

教室で個別に直接指導します
英語・数学(I・A・II・BC・III)、国語
(現代文・古文・漢文)(選択可)

○大学受験対策コース(高1~高3)

○弱点克服コース(高1~高3)

共通テスト対策リスニング特別講座

(高1~高3)

オンラインでリスニング指導

間違っていないですか？

外部読者の皆さん、参考にしたいだければ幸いです。

松進で日ごろ指導していることの中で、今回は「1行練習」と「1ページノート」について話します。

次をチェックしてみてください。
「ノートに漢字英単語を一行ずつ書いて覚えよう」
「ノートに1日1ページ勉強して提出してください」

学校や通っている塾でこのように言われ、その通りに勉強をしていますが。

一行書けばいい。ノート1ページ埋めれば宿題はおしまい！
このような気持ちで勉強をしていますか。

これでは覚えられないものも覚えられないし学力も伸びません。
なぜ一行練習や1ページノートが良くないのでしょうか。

考えてみてください。
例えばある漢字(英単語)を覚える時、一行の全てに書かなくても一行の途中で覚えられれば漢字があれば、一行以上書かないと覚えられない漢字もあります。

覚えてしまっても一行書かなければならない勉強、覚えていなくても一行で練習を終わりにする勉強って何でしょうね。

覚えた時点で練習をやめて、その続きに次に暗記したい漢字などを練習していく勉強法でやってみませんか。



「1ページノート」も目的をもって勉強する子どもを育てていません。「一生懸命にやったのであればい

ページ全部に書き込みがなくてもいいし、1ページ以上になってもそれでいい」という指導者の姿勢が子どもたちに伝われば、1ページを埋めるだけの勉強をする子が少なくなると思います。

かつて1ページの途中から白紙状態のノートを学校で提出し、先生に宿題をやってくるように注意された子がいました。

その子がいろいろ調べたり、一つの問題を時間をかけて考えていたら書き込む量が少なくなってしまうことを先生は知りません。

1ページが埋まっていれば良いのではなく、ノートにどんなことをやっているのか、どのようにやっているのかを指導者が見たり聞いた時に子どもに接する、これが本来の指導だと思っています。

子どもを伸ばすために私たちがやっていることは、伸ばさない指導法や伸びない理由に気づき、伸ばすことをやる、これです。
がんばります！

最近の松進

☆小・中・高のみんなが実力テストに挑戦しました！
終わったあとも、間違えたところをしっかりとやり直して、次につなげていきます。

☆中3生と保護者の方を対象に進路面接を行いました。
12月に各中学校で行われる三者面談に先がけて、テスト結果や通知表等をもとに、志望校合格の見通しや今後の課題について話し合いました。



☆小・中・高の全学年を対象に「教育企画」を実施しました。
小学生は、思考力や判断力を育てる少し難しい問題にチャレンジ！中学生・高校生は、テスト対策の特別授業で実力アップを目指しました。

☆英検、漢検、数検、三大検定を行いました！
多くの受験者が受験級合格を目指して頑張っていました。



【今後の予定】

☆12月14日(日)、中学3年生が対象の「長野県高校入試模擬試験」を実施します。
公立高校入試に合わせた問題に挑戦。長い塾歴を持つ松進。積み重ねたデータで合格判定を出します。



☆12月、小学生対象のクリスマス会を開催します。
各教室で楽しい企画がいっぱい！松進サンタと一緒に楽しんでください。



松進のしんしん

Y矢先生の住んでいる村で、恒例のソフトボール大会が開かれました！
：と言っても、参加する若者衆の楽しみは試合ではなく、その後に行われる慰労会(飲み会)。



ソフトボールは喉をカラカラにするための手段というわけです。
「えーへへへへへ、いい天気。早く終わらせてグビグビ飲みたいやう。ビール、うまいだろうな」
何しろY矢先生のチームは毎年全戦全敗のチョー弱チーム。

○対20という、ラグビーの試合か？と勘違いされそうな結果だった時もある弱いチームです。
毎年そんな感じですから、負けたらすぐに公民館に行って慰労会の準備をするつもりでニコニコハラハラして試合に出ていました。

ところが困ったことが起きてしまったのです。なんと1試合目で勝ってしまったのです！
「勝っちゃった……(汗)」
1戦目で7-5で勝ってしまったのです。

みんな呆然。
続く2戦目。ここで勝つと決勝進出です。喉はすでにカラカラ。喉の中がくっつきそうです。
なんとか負ける方法はないものかと、みんなで作戦会議。



そこで素晴らしい案が出ました。
「左で打とう作戦！」
全員右利きだったので、全員左打席に立って真面目に打つという作戦です。

「これで負けられるーうれすいな」とみんなで大盛り上がり。
トップバッターはY矢先生。

「うえーふえーふえー」と、へらへら笑いながら人生初の左打席へ。

ピッチャーが投げました！
するとここで予想外のことが……
カッキーーン！

「ギョエー！
当たっちゃったー！」
打球はまっすぐセンター方向へ。まさかのクリーンヒット！
みんなびっくりすっぽんぽん。本人が一番ビックリ。



その後、村のみんなが左打ちで次々とヒット。
なんと一挙7点ゲット！
結局、試合は負けましたが楽しい思い出になったとき。